

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 自社技術を磨くことによる成長を目指す 岡林 理 (レーザーテック社長)

- 2001年に私がレーザーテックに入った当時は、町工場の延長のような小さな会社という印象でした。小規模ながらユニークな製品を数多く開発していることにとても驚いた記憶があります。レーザーテックは大企業ではできないような挑戦を重視してきました。EUV (極端紫外線) 関連の検査装置もそうです。
- 現在の経営課題は、旺盛な受注にすべて応え切れていないことです。従業員不足も喫緊の課題です。売上高や受注残の高まりに、人材の採用が追いついていません。国内外でトップクラスの待遇を用意し、人材獲得を急いでいます。若手のうちから責任の大きな仕事を任せ、早期に戦力化する取り組みを進めています。
- ただ規模拡大に向けたM&A (合併・買収) は基本的に考えていません。単に会社の規模を追求しても意味はない。自社技術を磨くことによる成長を今後も目指していきます。株価は社長就任後に200倍近くになりました。将来への期待値という面もあると思いますし、たまたま運がよくこうした局面に立ち会えただけで私自身は考えています。

(参考:「日経ビジネス」2023年6月19日号)

## 幹部への活きた言葉

### 真の学問とは

- 「学を為す、故に書を読む」。幕末の儒者佐藤一斎<sup>いっさい</sup>の言葉である。学を為すために書物を読むのである。書物を読むことが即ち学ぶことではない、の意である。学といえば学校の勉強が思い浮かぶがそうではない。ここでいう学は人間学のことである。自分を創ることである。人が学ぶのは自分を創るためであり、本を読むことがそのまま自分を創ることにほならない。
- 森信三の言葉に「真の学問というものは、単に頭に覚えるだけではなくて、心にこれを思っ忘れて、常にこれを行うことであります。否ひとりそれのみに留まらず、常にこれを行うことによって、ついには生まれつきの生地や根性までも、これを根こそぎ改変するようなどころまでゆくようであれば、真に学問したとはいえないでありましょう」がある。

(参考:「致知」2023年7月号)

## 経営者のための営業学

### 社員に年収1400万円払う思惑

- レーザーテック1448万円、東京エレクトロン1285万円、ディスコ1140万円。日本が世界に誇る半導体製造装置メーカーについて、何を売っているかは知らなくても、屈指の「高年収」企業としてご存じの方も多いのではないかと。なぜ半導体製造装置メーカー社員は高い年収をもらえるのか。1つは、社員に還元する財務余力があるからだ。
- ディスコの関家一馬社長は、「報酬を上げても問題がないほど、利益を上げられる」ため、毎年ベースアップができると話す。冒頭の3社の営業利益率は30%前後と極めて高い。半導体市場は中長期的に拡大しており、労働単価を数%上げてもすぐに回収できる。加えて、高い給与を払うことが文字どおり「人への投資」になる。

(参考:「週刊東洋経済」2023年6月3日号)

## 古典に学ぶ

### 慈悲はどんな時も平等

- 如来の慈悲はどんな時も平等であり、救いの光は、誰ひとり差別することなくすべての人に注がれていると、空海は説きます。
- 仏教において、如来とは、一般的にいえば「悟りに達した存在」のことです。阿弥陀如来、釈迦如来などといった仏様をご存知でしょう。ただし、空海は「如来の名のついた尊い仏様が人々を皆救ってくれる」といっているわけではありません。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)